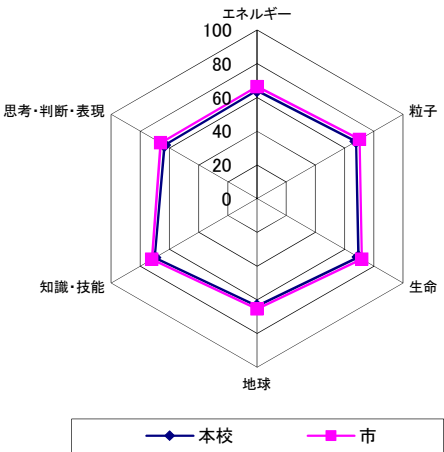


宇都宮市立雀宮中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	64.1	66.5	61.2
	粒子	67.8	70.2	62.3
	生命	69.5	71.8	65.7
	地球	63.7	65.4	61.0
観点別	知識・技能	70.0	72.0	67.3
	思考・判断・表現	63.4	66.0	58.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	平均正答率は市平均を1.4ポイント下回り、参考値を2.9ポイント上回った。 ○位置エネルギーと運動エネルギーが移り変わる運動で、物体の速さの変化を推測できる。という問題において市の平均を上回っている。 ●電流の性質に関する問題においては、どの問題でも市の平均を下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・電流や電圧の直列回路、並列回路での規則性やオームの法則など基本的な公式が定着していないことで、苦手意識を持っている生徒が多い。授業の中で、基本的な問題演習の時間をしっかりと確保し、定着させていく。
粒子	平均正答率は市平均を2.4ポイント下回り、参考値を5.5ポイント上回った。 ○気体の性質、水溶液とイオンに関する問題において市の平均を上回っている。 ●物質の成り立ちに関する問題において市の平均を下回っている。	・物質の成り立ちでは、まずはしっかりと化学式定着させ、化学反応式の仕組みを理解させるよう指導していく。ただ暗記するのではなく、現象と化学反応式をリンクさせて指導していく。
生命	平均正答率は市平均を2.3ポイント下回り、参考値を3.8ポイント上回った。 ○遺伝子に関する問題において市の平均を上回っている。 ●植物の分類、動物のからだのつくりとはたらきに関する問題において市の平均を下回っている。	・暗記の部分が多い単元となっているので、暗記の仕方、覚え方の工夫について指導していく。 ・知識が定着するよう繰り返し何度も指導していく。 ・言葉だけでなく説明もセットで覚えていくように指導していく。
地球	平均正答率は市平均を1.7ポイント下回り、参考値を2.7ポイント上回った。 ○前線の通過と天気の変化に関する問題において市の平均を上回っている。 ●天気図記号の読み取りに関する問題において市の平均を下回っている。	・単元学習時にこだわらず、年間通して季節ごとに天気の学習を取り入れ、身近な問題としてとらえるよう指導していく。 ・天気図の読み取りが苦手な生徒が多いので、繰り返し練習していくよう指導していく。